

ふるさと白川町の歴史

年月	主な出来事
昭和31年	(1956年) 白川町、蘇原村、黒川村、佐見村が合併して新町誕生 新藤郁太郎氏(坂ノ東)、初代町長に当選
昭和32年	(1957年) 「広報しらかわ」創刊 消防団を統合、白川町消防団発足 第1回町議会議員選挙(定数26名) 婦人会、青年団の町連合組織発足 白川町体育協会発足
昭和33年	(1958年) 役場新庁舎建設工事完成 合併記念として町有林18ヘクタールを坂ノ東地内に取得 松ヶ瀬橋(河岐)完成 下金町営住宅10戸を建設
昭和34年	(1959年) 蘇原有線放送事業始まる 坂東橋(白山)、飛泉橋(河岐)完成 伊勢湾台風襲来、死者1名のほか、被害が大きく災害救助法の適用を受ける 新藤町長及び町議会全議員辞任 町長、町議会議員選挙が行われ、第2代町長に田口通一氏(黒川)当選
昭和35年	(1960年) 田口通一町長死去、町葬を行う 白川保育園(和泉)が完成 第3代町長に清水忠男氏(下佐見)当選 白川町観光協会発足
昭和36年	(1961年) 白川町商工会設立 第2室戸台風襲来、各地に被害 西白川、大山、坂ノ東中学校を廃止して白川中学校の設置を決める
昭和37年	(1962年) 日本結核予防会総裁秩父宮妃殿下から表彰を受ける

昭和38年	4月 佐見地区にへき地保育所開設 白川口公会堂を購入し、町民センターとして開設 (1963年)
昭和39年	1月 町章を制定 黒川へき地保育所開設 町議会議員選挙執行(議員定数18名に削減) (1964年)
昭和40年	3月 飛騨木曾川国定公園の指定を受ける 白川小学校給食センター(河岐)完成 白川霊苑(坂ノ東)完成 白川中学校新築工事完成 関西茶品評会本町で開催 (1965年)
昭和41年	2月 佐見保育園完成、へき地保育所を廃止 野原土地改良工事(河東)完了 国道41号七曲橋、鷺原橋完成 坂ノ東へき地保育所開設 町内の公社電話、即時通話始まる 合併10年記念行事を行う (1966年)
昭和42年	3月 白川、坂ノ東、蘇原、切井、黒川の各農協が合併し、白川町農業協同組合を設立 白川坂ノ東有線放送電話事業始まる 公衆衛生事業の功績により、厚生大臣表彰を受ける 白川簡易水道工事完成、白川口と和泉で給水始まる 岩永医師により、佐見診療所開設 (1967年)
昭和43年	7月 黒川保育園完成、へき地保育所を廃止 町道小原線(河岐)開設工事完成 町内の国道41号改良工事完成 白川口駅前の町営駐車場完成 白川、蘇原、黒川、佐見の各森林組合が合併し、白川町森林組合を設立 坂ノ東保育園完成、へき地保育所を廃止 役場佐見支所新庁舎完成 清水忠男町長辞任 第4代町長に加藤公美氏(黒川)当選 (1968年)
昭和44年	1月 白川警察官派出所(河岐)完成 黒川小学校給食センター完成 白川町誌発刊

昭和45年	8月 8・17集中豪雨により町内各地に災害が発生し、死者2名を出し災害救助法の適用を受ける 国道41号河岐下山地内で観光バス2台が増水した飛騨川に転落し104名が命を落とす 総理大臣来町、8・17災害状況を視察 (1969年)
昭和46年	9月 農業構造改善事業により、鱒淵と広野の茶園、鱒淵製茶工場、緑茶冷蔵所、大寺稚蚕共同飼育所完成 白川、蘇原、黒川の有線放送電話事業一本化に伴い農協から町営へ 役場蘇原支所新庁舎完成 「8・17災害犠牲者慰霊碑」と「天心白菊の塔」を河岐下山地内に建立し除幕式を行う 町消防団8・17災害の復旧とバス事故遺体捜索の功労により、総理大臣表彰を受ける 加茂錦鯉センター(坂ノ東)完成 高山線全列車がディーゼル車となる 藤井丙午氏(黒川)を名誉町民の称号を贈り、顕彰式を行う (1970年)
昭和47年	3月 農業構造改善事業により、広野製茶工場と宇津尾茶園12ヘクタールが完成 佐見地区有線放送電話事業が町営となり、町内一本化が完了 切井へき地保育所開設 天神線(河岐)架替工事完了 白川小学校(和泉)新築工事完了 白川中学校運動場に夜間照明施設が完成し一般に開放 役場黒川支所新庁舎、黒川総合センター完成 (1971年)
昭和48年	5月 山村振興事業により、三川製茶工場、佐見錦鯉稚魚供給施設、緑茶集荷所(河岐)完成 黒川東小、中小、西小を統合し、黒川小学校の設置を決める 県議会議員選挙で、長谷部正雄氏(河岐)当選 保健文化賞を受ける 新町15周年記念として岩倉町有林(坂ノ東)40ヘクタールを取得 佐見農協が白川町農業協同組合と合併し、農協合併事業完了 第5代町長に今井廣嗣氏(和泉)当選 新田洞林道の柳島橋(和泉)が完成し大正河原キャンプ場の整備進む (1972年)
昭和49年	4月 オリンピック・ミューンハン大会のカヌー競技第一次予選を白川で開催

4月	町の予算総額10億円の大台に	昭和55年	4月	(1980年)	切井小、赤河小、三川小を統合し、蘇原小学校(赤河)開校	昭和61年	3月	(1986年)	町消防団員の定数を445名に削減
10月	町体育協会、文部大臣表彰を受ける				蘇原保育園(切井)開園、切井へき地保育所を廃止		4月		美濃茶臼川流通センター(坂ノ東)完成
12月	町の木「ひのき」、町の花「岩つつじ」を選定				切井中学校を白川中学校へ統合		5月		ぎふ水と緑の環境百選に「白川街道と白川」が選定される
昭和48年	(1973年)				切井製茶工場完成		7月		白山に株式会社三明電機白川製作所を誘致、操業開始
5月	第7回中日本総合ソフトボール大会開催、オール白川チーム、一般男子の部で3位入賞		8月		県茶業振興大会を本町で開催				参議院議員選挙で藤井孝男氏再選
	長寿の森第1号佐見に誕生				明治維新史料館(三川)オープン				蘇原地区県営ほ場整備工事始まる
昭和49年	(1974年)		12月	(1981年)	参議院議員名譽町民藤井丙午氏逝去		8月		県茶業振興大会を本町で開催
2月	林業構造改善事業により土木・林業用機械を購入し、町営による作業道開設事業を始める	昭和56年	1月		参議院議員補欠選挙で藤井孝男氏(黒川)当選		8月		葛牧橋(河東)完成
7月	参議院議員選挙で名譽町民藤井丙午氏当選	4月			飛騨川簡易水道完成	昭和62年	10月		三川簡易水道完成
9月	台風18号襲来、被害総額約3億円	6月			可茂消防事務組合に加入	11月	11月		合併30周年記念行事を行う
昭和50年	(1975年)	8月			町農業友好訪中団、旧満州の「陶頼昭」を訪問	(1987年)			
1月	白川町農協会館(河岐)が完成	9月			今井廣嗣町長辞任		3月		第1回青少年海外派遣事業で高校生ら4名をビストイア市へ派遣
4月	町の予算総額20億円の大台に	10月			第6代町長に鈴木富郎氏(赤河)当選		4月		県議会議員選挙で新藤秀逸氏4選
	県議会議員選挙で新藤秀逸氏(坂ノ東)当選				河岐地内に可茂消防事務組合の東消防署庁舎が完成し、業務を開始		6月		黒川中学校完成
6月	独居老人のための家庭奉仕員を設置	昭和57年	3月	(1982年)	町の予算総額40億円の大台に		8月		スポーツ少年団「赤とんぼ」(赤河)がソフトボールで全国大会に初出場
12月	オール白川女子ソフトボールチームが東海4県総合大会で優勝	6月			県下最長寿者安江勇次郎さん(白山104歳)死去				全国の白川さんを募集し「美濃白川ファミリーの会」発足
昭和51年	(1976年)	11月			水戸野農道新水戸野橋完成		11月		中央公民館、保健センター、福祉センターの複合施設「町民会館」が完成
3月	和泉、大山、坂ノ東教員住宅完成	昭和58年	2月	(1983年)	切井体育館完成	昭和63年	12月		町議会議員選挙執行(議員定数16名に削減)
4月	上佐見小、下佐見小を統合し、佐見小学校が開校	3月			油井運動場完成		2月		白川町商工会館完成
4月	県立白川高等学校が完成、開校式が行われる	4月			県議会議員選挙で新藤秀逸氏3選		5月		下油井町営住宅5戸完成
7月	公社電話の全町自動ダイヤル化完成	9月			9・28豪雨、被害総額3億円余		7月		佐見中学校が日本善行会から青少年善行表彰を受ける
8月	台風17号による集中豪雨で被害総額1億円余	昭和59年	1月	(1984年)	元三川小学校跡地に光の子保育園完成		8月		皇太子妃殿下と紀宮内親王殿下ご来町
9月	白川町民憲章および白川町民の歌を制定	4月			大山小、坂ノ東小を統合し、白川北小学校(坂ノ東)が開校		10月		主要地方道下呂白川線白川口トンネル完成
昭和52年	(1977年)						平成元年		(1989年)
1月	黒川小学校、図書館教育で文部大臣賞受賞						1月		昭和天皇崩御、時代は平成へ
昭和53年	(1978年)						3月		黒川営農飲雑用水完成
3月	町の予算総額30億円の大台に	6月			イタリア・ピストイア市から市長ら3名が来町、友好交流事業が始まる				河岐橋が完成し、主要地方道下呂白川線河岐バイパスが全線開通
4月	ソフトボールを町技に指定	7月			鈴木町長イタリア・ピストイア市を公式訪問				町の予算総額60億円の大台に
	田代グリーンセンターがオープン								有線放送事業を廃止し、町防災行政無線施設を開局
昭和54年	(1979年)						4月		第7代町長に田口久男氏(坂ノ東)当選
1月	社会福祉法人白川町社会福祉協議会設立	昭和60年	4月	(1985年)	町の予算総額50億円の大台に		9月		東濃ひのき製品流通協同組合の木材加工施設(三川)完成
3月	県立白川高校第1回生134名卒業				白川北製茶工場(坂ノ東)完成		11月		
4月	県議会議員選挙で新藤秀逸氏再選				第1回白川・イタリアオルガン音楽アカデミー開催				
5月	赤河簡易水道完成	6月			国鉄下油井駅が「農協駅」として再出発				
	町道鷹の巣線(下佐見)完成	7月			白川町ビストイア市友好協会設立	平成2年	3月		スパイン・サラマンカ大聖堂オルガン修復記念フェスティバルに町長ほか12名が参加
11月	初の全町一区による町議会議員選挙を行う	11月			東濃ヒノキ白川市場(三川)完成				
					県育林祭を本町で開催				

4月	スペインからトマス・ルイス・デ・ビクトリア合唱団が来町	平成6年 (1994年)	3月	ピアチエーレに「道の駅美濃白川」を開駅	3月	「世界に開かれたまち」自治大臣表彰受賞
5月	白竹作業所(坂ノ東)開所	4月	美濃白川スポーツランド(河岐)温泉保養館オープン	4月	町道上小原線「小原橋」完成	三川茶生産組合製茶施設完成
7月	農村環境改善センター(黒川)完成	5月	県議会議員新藤秀逸氏が103代県議会議長に就任	9月	台風7号及び集中豪雨により大きな被害が発生	福祉センターに在宅介護支援センター開設
8月	白川橋ライトアップ工事が完成	10月	美濃白川スポーツランドにケイマンゴルフ場オープン	10月	在宅福祉事業への積極的な取り組みが評価され、厚生大臣表彰受賞	ソフトボール町技制定20周年記念行事を行う
8月	関西茶品評会が本町で開催され、鱒洲茶生産組合が農林水産大臣賞を受賞	12月	特定農用地総合整備事業「美濃東部地区」計画樹立が決定	平成11年 (1999年)	2月	黒川保育園新園舎完成
11月	蘇原ライスセンター(赤河)完成	平成7年 (1995年)	主要地方道恵那白川線河岐三川間のバイパス工事着手	3月	知的障害者施設「白竹の里」(赤河)完成	町単独地域振興券の発行開始
平成3年 (1991年)	河東鷲原地内で温泉掘削に成功	3月	蘇原小学校プール完成(全小学校に整備完了)	4月	河岐バイパスが完成開通	新田バイパス、黒川バイパスが完成開通
3月	町第三次総合計画を議決	4月	白川学校給食センター(三川)完成	6月	かしも白川流域連合協議会が発足	美濃白川クオーレの里で「ミレニアム祭」開催
4月	県議会議員選挙で新藤秀逸氏5選	5月	美濃白川ふるさと体験村(下佐見)オープン	7月	新田バイパス、黒川バイパスが完成開通	町内初の集合型町営住宅「コーポサンリバー20C」が三川に完成
5月	東座の修復が完成、名譽館主に中村勘九郎氏を迎え記念公演	6月	白川ピストイア友好協会が町国際友好協会に改称	平成12年 (2000年)	1月	美濃白川クオーレの里で「ミレニアム祭」開催
7月	美濃白川ゴルフ倶楽部オープン	8月	やすらぎの里公園(切井)オープン(隠居山観音)	3月	白川中学校に柔剣道場が完成	白川中学校新体育館が完成
11月	紀宮殿下ご来町	9月	東濃ヒノキ白川市場開設10周年記念市開催	平成13年 (2001年)	2月	サンシャイン美濃白川に県下初のケアユニット方式の入所棟が完成
平成4年 (1992年)	町の魚「アジメドジョウ」、町の鳥「ウグイス」を選定	平成8年 (1996年)	福祉センター「さわやか白楽園」(三川)オープン	3月	町の当初予算が100億円を突破	町の当初予算が100億円を突破
1月	新町35周年記念行事を行う	3月	佐見ふれあいセンター完成	平成14年 (2002年)	11月	第4次総合計画「美濃白川ときめきプラン21」を策定
1月	七曲町営住宅完成	4月	切井簡易水道完成	3月	白川中学校新体育館が完成	第1回自転車ヒルクライムタイムトライアル開催
2月	蘇原地区公民館完成	5月	特別養護老人ホーム「サンシャイン美濃白川」(坂ノ東)オープン	5月	合併45周年記念行事を行う	海山交流事業で調査団12人が沖縄県宮古島を視察
3月	白川保育園新園舎完成	7月	白川北茶工場拡充整備	平成15年 (2003年)	3月	多目的集会施設「佐見むつみ会館」完成
4月	白川町林業センター完成	8月	白川斎場完成(改築)	4月	美濃加茂市加茂郡町村合併協議会を設置され、1市7町村の合併協議が本格化	美濃加茂市が稼働を開始し、戸籍が電算化
4月	河東に飯島製本株式会社白川工場を誘致、操業開始	9月	白川町出身者による「美濃白川ふるさと会」結成	5月	戸籍電算システムが稼働を開始し、戸籍が電算化	町内の合併協議が本格化
7月	中国扶余市長ら4名来町	10月	合併40周年記念行事を行う	9月	まちづくり条例」を制定	町内の合併協議が本格化
9月	参議院議員選挙で藤井孝男氏3選	11月	笠松町と「災害時における相互応援盟約」を締結	平成16年 (2004年)	3月	町内の合併協議が本格化
9月	紀宮殿下ご来町	平成9年 (1997年)	特定公共賃貸住宅下赤河団地完成	4月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
10月	情報教育推進のため各小中学校にコンピュータ導入	3月	高齢者能力活用協会(現シルバー人材センター)発足	5月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
平成5年 (1993年)	農畜産物処理型加工施設(河東)完成、営業開始	4月	広域基幹林道白北線開通	6月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
3月	町の当初予算額が、80億円を突破	5月	濃飛建設職業能力開発校(白山)開校	7月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
4月	宇津尾製茶工場完成	8月	中野緑茶加工施設完成	8月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
5月	広域合併により白川町農協が美濃加茂農協となる	9月	町民会館開館10周年記念行事を行う	平成17年 (2005年)	9月	町内の合併協議が本格化
7月	県道上佐見坂ノ東線が国道256号に昇格	10月	河岐トンネル貫通	10月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
9月	イタリア大使夫妻来町	11月	藤井孝男氏が運輸大臣に就任	11月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
9月	アウトドアリゾート施設「クオーレふれあいの里」(和泉)オープン	12月	第8代町長に今井良博氏(三川)当選	12月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
7月	衆議院議員総選挙で藤井孝男氏が当選	平成10年 (1998年)	着工以来12年、蘇原地区区ほ場整備完工	12月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
9月	美濃白川ふるさと館ピアチエーレ(河東)オープン	2月	町営住宅和泉団地完成	12月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化
9月	主要地方道恵那白川赤河バイパス完成	2月	佐見中学校新校舎完成	12月	町内の合併協議が本格化	町内の合併協議が本格化

4月	町営住宅赤河団地「ルーラルコーポ赤河」完成 図書室、資料展示室などを備えた美濃白川集館がオープン ピオトリプ型の河川公園「さかなわくわく公園」がオープン 小学生の代表20人が沖縄県宮古島を訪問し、海山交流が幕開け 昭和32年3月の創刊から47年、広報しらかわ500号を発行 平成16年（2004年） 介護予防拠点施設「まめな館とみだ」完成 森の発電所（木質バイオマスエネルギー利用施設）の運用を開始 さわやか広場「みかわドーム」が完成 佐見デイサービスセンター「せせらぎ園」が開所 イタリアピストリア市との交流20周年と姉妹都市提携10周年を迎え、記念式典を開催 第20回白川イタリアオルガン音楽アカデミーを開催 町民会館に大型パイプオルガンを設置、町民会館ホールを「白川グロリアホール」と命名 美濃加茂市と加茂郡の合併協議が破綻 平成17年（2005年） 岐阜県教育委員会が白川高校と加茂高校の統合を発表 ピアチエーレ駐車場に飛騨美濃特産名人の館「茶ちゃチャ」と美濃白川お母さんの味「てまひまの店」が完成 コミュニティセンター「黒川いこいの家」が完成 新規就農者研修施設「鱒淵団地」竣工 役場の組織と機構を改革。グループ制を導入 オイスカ国際会議in美濃白川が開催され、世界17の国と地域から約100名の国の代表やオイスカ会員が来町 8月 白川町誌現代編が完成 白川町議会が解散、町長選挙と町議会議員選挙（議員定数9名に削減）を同時執行 10月 白川高校創立30周年記念式典を実施 平成18年（2006年） 町内全域に簡易水道の敷設が完了 白川ふれあいセンターが完成 第4次総合計画後期基本計画及び第4次行財政改革大綱を策定 7月 黒川東座名営館主「18代中村勘三郎襲名記念特別公演」が行われる 8月 関西茶品評会において宇津尾茶生産組合が農林水産大臣賞を受賞	10月 合併50周年記念行事を開催 白川橋が土木学会選奨「土木遺産」に認定 平成19年（2007年） 都市と農村交流促進施設として白川沿いに9棟の農園付きコテージ完成 飛水峡が日本の地質百選に認定 平成20年（2008年） 日本風景街道に「美濃白川四季彩街道」が登録される 消防団第1分団が37年ぶりに県大会に出場し、5位入賞 平成21年（2009年） 白川高等学校（加茂高校白川校舎）が閉校 「緑のふるさと協力隊」を受け入れ 野菜村チャオが年間売上1億円を達成 大豆加工施設「佐見とうふ豆の力」がオープン 白川・東白川間農用道トンネルが貫通 平成22年（2010年） 白川町出身の作家中山七里さんが、第8回「このミステリ」がすごい！」大賞を受賞 認知症対応型グループホーム「かわばた荘」が完成 町全域でケーブルテレビ施設整備が完了し、めざまししらかわ（行政情報番組）が放送開始 平成23年（2011年） 東日本大震災が発生、震災の影響で東京電力福島原子力発電所の事故が同時発生 町民会館3階に「住民生活に光をそそぐ相談室」を設置 4月 東日本大震災復旧を支援するため「白川町災害ボランティア隊」が若手県陸前高田市で災害復旧支援活動を実施、翌年10月までに5回の派遣を実施 5月 台風15号襲来、町内に甚大な被害をもたらす 9月 ぎふ清流国体に向けた白川射撃場改修工事が完了 美濃加茂市と定住自立圏協定を締結 平成24年（2012年） 美濃白川道の駅温泉オープン 「ぎふ清流国体」が開幕、町内でライフル射撃とクレー射撃が行われ、翌10月には「ぎふ清流大会」が開催される 11月 第6回全国水源の里シンポジウムが白川町を会場に開催される 平成25年（2013年） 第17回全国茶サミットが白川町を会場に開催される 白川橋が国の有形文化財に登録される 3月	5月 第4回かも1グランプリをクオールの里で開催 白川中学校女子ソフトボール部が全国大会に出場 8月 第9代町長に横家敏昭氏（切井）が就任 9月 東座の二代目名営館主に六代目中村勘九郎さんが就任 平成26年（2014年） 旧白川高校跡地に清流国体記念運動公園「大野台パーク」完成 役場の機構改革を行い係制に変更 4月 日本創生会議が「消滅可能性都市」を発表し県下ワースト1を記録 5月 白川町ピストリア市交流30周年記念式典を開催 平成27年（2015年） 年少児から年長児までの保育料を無償化 各種行政情報を町民に直接届けるメール配信サービスの運用を開始 4月 白川町子育て支援センター「ちびっこひろば」開設 赤とんぼスポーツ少年団が、第59回中日本総合ソフトボール選手権大会で優勝 平成28年（2016年） イタリアピストリア市青少年派遣で佐見中学校の安江遼太郎さん、安江龍弥さんが歌舞伎を上演 3月 第1回白川東白川地域公共交通活性化協議会を開催し、公共交通のあり方及び合理的で効果的な移動手段の検討が始まる 6月 合併60周年記念式典を開催 10月 台湾における白川茶PRイベントに参加し、白川茶と麦飯石の大々的なプロモーションを実施 11月 美濃白川集館の資料展示室が「まちかど美術館博物館」に登録され、知事から感謝状が贈呈 12月 白川北地区公共交通地域部会が、宇津尾で地域コミュニティバス「ニコニコふれあいバス」実証運行の出発式を行う 平成29年（2017年） 一般社団法人スポーツリンク白川が発足 3月 体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ等が一体となって法人化 4月 メーテレ開局55周年記念番組として白川町を舞台にしたドラマ「岐阜にイジュー」全10話が放送開始、町民も多数出演 7月 佐見とうふ豆の力に農家カフェ「ソシア」がオープン、町内産の大豆を使った豆腐料理などを提供 11月 佐見地区公共交通地域部会が、地域コミュニティバス「佐見いこい」実証運行の出発式を行う 12月 町内産東濃ひのきの新たな活用方法や可能性を探るため産官学連携により木製品開発報告会を開催 東濃ひのきの海外販路開拓のため、中国広東省広州市と佛山市を訪問
----	--	---	--

7月	8月	10月	11月	12月	平成30年 （2018年）	3月	4月	4月	5月	4月	7月	8月	10月
マツオカと災害時における応急生活物資（食料品や日用品）の供給等に関する協定を締結	同時執行の町長・町議会議員選挙が告示され、町長選挙は無投票で横家町長が再選	東京オリンピック・パラリンピック競技大会「選手村ビレッジプラザ」への木材提供者に選定される	中村勘九郎中村七之助全国芝居小屋錦秋特別公演が黒川東座で開催される	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から木材提供に対し感謝状が贈呈される	町有林のスギやヒノキを森林認証材として初出荷	赤川簡易水道切井浄水場が竣工、セラミック膜によるろ過装置に改修	交流スペース、厨房、宿泊施設を備える農業研修交流施設「黒川Maruke（マルケ）」が竣工オープン	佐見食品加工施設が竣工し、伝統料理の鯉の赤煮や川魚の加工を行い、食文化を次世代に伝承	健康増進と健診受診率向上を図るため、ポイントを付与し商品券を進呈する「豆まめ健康茶（チャ）レンジ事業」が始まる	美濃白川お茶街道が開通、県営ふるさと農道整備事業として進められていた町道中川下油井線の宇津尾から油井までの改良工事が完成し、事業変更を経て、美濃東部農道として事業が開始された全線で整備が終了	複合型拠点施設よいいち（41）美濃白川がオープン	白川町、東白川村、名古屋大学大学院環境学研究科の3者で、持続可能なまちづくりのための連携協定を締結	町産材東濃ひのきを活用した木製品を開発した家具メーカーの飛騨産業、東濃ひのきと白川の家建築協同組合と町の3者で事業提携協定を締結

10月	平成31年 (2019年)	1月	2月	4月	令和元年	5月	7月	9月	10月	令和2年 (2020年)	1月	2月	3月	4月	5月					
町立図書館美濃白川楽集館の開館15周年を記念し、作家林真理子さんを講師に迎え講演会を開催	スマートフォン決済による町税納付が可能に	名古屋城天守閣木造復元事業に町産材を出荷	福祉医療費無料化を中学生以下から高校生世代の18歳以下にまで拡大	移住交流サポートセンターが一般社団法人としてスタート、法人化にあわせ、三川の古民家を改修し役場から移転	平成から令和に改元	水戸野地内の茶畑で同時に茶摘みした最多人数のギネス世界記録に挑戦し、576人が同時に茶摘みをして世界記録を達成	東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザで使用する木材の出荷式が岐阜市で行われ白川町を含む6市町村が参加	高知県で開催された「清流めぐり利き鮎大会」で佐見川の鮎が初参加で準グランプリを獲得	オイスカ子ども森親善大使としてインドネシアとタイから子どもたちが来町し、白川北小学校児童と交流	白川町で撮影された映画「his」が公開	東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザの棟上げが完了、内覧会に木材提供した白川町を含む県内6市町村が参加	白川小学校と白川北小学校の統合に伴う白川小学校閉校式が行われ、白川北小学校の和泉の学び舎は147年でその歴史に幕を閉じる	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休校措置が講じられる	白川北小学校閉校式が行われ、36年の歴史に幕を閉じる	世界保健機構（WHO）が新型コロナウイルス感染症（COVID19）のパンデミックを表明	県立森林文化アカデミーと森林資源の活用、ICTを用いた調査や担い手育成に関する連携協定を締結	地域包括支援センターを直営とし町民会館へ移転	白川小学校が開校、旧白川北小学校の校舎で新生白川小学校がスタートするも、休校措置中の挙行となり、5月末まで休校が続く	全都道府県に緊急事態宣言を発出、岐阜県は特別警戒と道府県に指定される	JUAVACドローンエキスポアートアカデミー岐阜校とドローンを活用した地域活性化に関する連携協定を締結

7月	10月	11月	12月	令和3年	令和4年	令和5年	3月	5月	6月	7月	8月	9月	11月
集中豪雨に見舞われ5日18時から8日9時までの63時間の総雨量が306ミリに達し、白川と飛騨川の合流地点で床上13件、床下19件の浸水被害が発生、24日には国土交通大臣が豪雨災害の被害状況視察のため来町	グリーンツーリズムの宿泊施設として旧介護施設「まめな館とみだ」がリニューアル、里山ゲストハウス「晴耕雨読とみだ」として開所	株式会社ダイワテックと災害時にソーラーシステムハウス等の提供に関する災害協定を締結	大垣共立銀行と遺言を活用した遺贈寄付に関する協定を締結	国道41号の改良工事、飛水峡街道（上麻生防災）起工式が執り行われる	白川小学校の新しい校章と校歌が完成、お披露目式が行われる 第6次総合計画を策定 日本郵便と包括連携に関する協定を締結 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会が1年遅れて開幕（パラリンピックは8月24日から） 福祉有償運送事業がスタート 2年連続の大雨による飛騨川白川合流地点の浸水被害が発生	第10代町長に細江茂樹氏（下佐見）就任 （2022年） 佐見中学校閉校、白川中学校に統合 細江町長病気のため辞意を表明 国道41号上麻生防災事業により天心白菊の塔をよいいち駐車場へ移転	第11代町長に佐伯正貴氏（黒川）就任 （2023年） 有機農業に地域ぐるみで取り組む町として「オーガニックビレッジ」を宣言 新型コロナウイルス感染症が第2類感染症からインフルエンザ同等の第5類に引き下げられ行動規制が緩和される	白川町社会福祉協議会とサンシャイン福祉振興会が合併し、新生「社会福祉法人白川町社会福祉協議会」が発足 東濃ひのき製品流通協同組合が新たな事業「Renawood（レナウッド）白川」を開始 東濃信用金庫と地域創生にかかわる包括連携協定を締結 株式会社リトルクリエイティブセンターとタウンプロモーション事業推進に関する連携協定を締結					

令和6年 (2024年)		3月	岐阜大学と包括連携協定を締結
		4月	白川町老人クラブ連合会の総会が開かれ「白川町シニアクラブ」へと名称を変更
		9月	役場新庁舎の起工式が執り行われる
		10月	リコージャパン岐阜支社と美濃白川DX戦略に関する包括連携協定を締結
		12月	イタリアピストイア市との交流40周年と姉妹都市提携30周年を迎え、記念行事としてWEBコンサート及びイタリアン給食を実施
			大寺橋(大寺)完成
令和7年 (2025年)		1月	白川東白川地域公共交通活性化協議会が国土交通大臣から「交通関係優良団体表彰」を受賞
		3月	手もみ製茶技術が国の登録無形文化財に指定
		1月	主要地方道恵那白川線全線開通に伴い記念式典を挙
		3月	行地域経済の活性化とキャッシュレス決済の普及のためデジタル地域通貨「ShiRacash」を導入
			大垣共立銀行株式会社バイウィルと地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた連携協定を締結
			蘇原保育園が閉園
		5月	岐阜県トラック協会加茂支部と災害時における物資輸送等の協力に関する協定が締結
		6月	町単独地域振興券の発行を終了
			特定非営利活動法人Vネットと「災害時における入浴等支援に関する協定」を締結
		8月	町議会議員選挙を執行(議員定数8名に削減)
			白川イタリオールガン音楽アカデミー第40回記念式典及び記念コンサートが行われる
		11月	東濃ヒノキ白川市場が開市40周年を迎える
		12月	施設一体型小中学校の新校舎起工式が執り行われる
令和8年 (2026年)		1月	役場新庁舎の竣工式が執り行われる
		1月	役場新庁舎が開庁
		2月	同朋大学白川町社会福祉協議会と包括連携協定が締結
			株式会社トイファクトリーと「マルモビパートナーシップ協定」を締結
		3月	白川橋架橋100年を機にライトアップをフルカラーLEDにリニューアル、同じく100年を迎えた白川口駅とともに100周年記念イベントを実施
		4月	町道小倉線「小倉橋」完成
		6月	故藤井孝男氏を名誉町民に選出
		8月	無投票で佐伯町長が再選
		9月	合併70周年記念式典を開催